

# 日本語学会 2020年度秋季大会（オンライン開催）発表方法の概要

今大会はウェブ会議システムZoomを用いた、オンライン開催となります。

Zoomでは、オンライン上に仮想の「会議室」ないし「セミナーーム」を設けることができます。利用者は、自身のパソコンやタブレットからこの「会議室」や「セミナーーム」にアクセスし、他の参加者と互いの顔を見ながらやりとりをすることができます。



発表者には下記をご準備いただく必要があります。

- ・インターネット（ブロードバンド）環境
- ・パソコン、タブレット、スマートフォン等のインターネット接続可能なデバイス
- ・マイク・スピーカー（パソコン内蔵のものでよい。ヘッドセットの利用推奨）
- ・ウェブカメラ（パソコン内蔵のものでよい）
- ・発表中に雑音などが入らない場所

Zoomの機能や操作方法についてはZoomヘルプセンターのウェブサイトをご参照ください。 <https://support.zoom.us/hc/ja>

上記のサイトから日本語音声ガイド付きの動画マニュアルが見られます。テキストによる解説が見たい場合は、同ページを下にスクロールしてください。

Zoomはブラウザからの参加も可能ですが、使用可能な機能等の制約があるため、発表が採択された場合は、大会までにZoomのアプリケーションをダウンロードしておいてください。

※大会当日は、大会実行委員がZoomの各会場のホストとなり、サポートをしますが、事前に資料提示（画面共有）等の基本操作方法をよくご確認ください。

※採択された場合にはより詳細な発表者用マニュアルをお送りします。また、発表者の方には事前リハーサルを行う機会を設けます。

発表者は、ご自宅や研究室等からZoomの「発表会場」にアクセスし、所定の時間にリアルタイムで発表をします。



- ・事前に録画した動画による発表は認められません。
- ・発表時はカメラをオンにし、顔が見えるようにしてください。

※画面には、電子資料を提示する場合は電子資料（ポスター発表の場合はポスター）、提示しない場合は発表題目と発表者名等を記したスライドが大きく表示され、発表者は小さいウィンドウに表示されます。

- ✓ スライドなどの電子資料を提示することも可能です。（アプリケーションや機能によっては、うまく動かない可能性があります。）
- ✓ 発表者のパソコンで再生した音声データを、聴衆に共有することもできます。
- ✓ 口頭発表の質疑応答は、司会者が質問希望者を順次指名して質問を促し、発表者にリアルタイムで回答してもらいます。

ポスター発表については、下記もご確認ください。  
<https://www.jpling.gr.jp/wp-content/uploads/2020/06/posterimage.pdf>

- ・事前にポスターデータを作成し、提出していただきます。大会前日から当日にかけて、日本語学会の特設ページでそのポスターを掲示します。参加者はそちらで事前にポスターの内容を確認します。
- ・所定の発表時間には、リアルタイムで質疑応答を行っていただきます。各発表は30分です。この時間は、ポスター記載の内容を説明するのではなく、聴衆との間で質疑応答を行うための時間として使ってください。